

低炭素建築物認定申請受付（第53条に基づく申請）

時期	内容	作業内容	参考記入例等	備考
工事着工前	受付	①「低炭素建築物新築等計画認定申請書」【第5号様式】による申請書及び別表に記載されている図書の提出を行う。 ②建築指導課窓口にて手数料の納付を行う。	低炭素【申請者】①-1 低炭素【申請者】①-2	正副2部提出。 (工事着工前)
	審査	指摘表が送付された場合においては、速やかに回答を返信する。(FAX及びメール可)	-	-
	副受付・ 副本返却	申請を取り下げようとするときは取下げ届を提出を行う。 後日、「取下げ届受理済」と押印された副本の返却を受ける。	低炭素【申請者】⑦	-
	処 決 理 裁	-	-	-
	交 付	認定通知書の交付及び副本の返却を受ける。	-	-
工事完了前	受付	以下の3点に該当する場合、各種届出の提出を行う。 ①認定を受けた建築物の工事を取りやめた場合：取りやめ届の提出。 ②認定建築主の名義に変更があった場合：名義変更届の提出。 ③軽微な変更があった場合：軽微な変更届、変更内容がわかる図書の提出	低炭素【申請者】③ 低炭素【申請者】④ 低炭素【申請者】⑤	-
	交 付	①、③の場合、副本の返却をうける。 ②に該当する場合は名義変更受理通知書の交付と副本の返却を受ける。	-	-
工事完了後	受付	工事完了報告書の提出。添付書類は以下の通り (1)建築基準法の規定による検査済証の写し (2)「建築物の低炭素化の促進のために誘導すべきその他の項目」で適合した項目に関する工事写真 (3)軽微な変更がある場合、当該変更内容が分かる図書	低炭素【申請者】⑥	正副2部提出。 工事完了後速やかに提出。

特記事項

変更の申請場合も同様の手順とする。

（第一面）

宛先は「八千代市長」としてください

低炭素建築物新築等計画認定申請書

申請日を忘れずに記入してください

年 月 日

八千代市長 様

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地 ○○○○
申請者の氏名又は名称
代表者の氏名 ○○○○

都市の低炭素化の促進に関する法律第53条第1項の規定により、低炭素建築物新築等計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 住戸の部分のみ
- 建築物全体及び住戸の部分

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員氏名	係員氏名	

（注意）

1. この様式において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ次のとおりとします。
 - ①一戸建ての住宅 一棟の建築物からなる一戸の住宅で、住宅以外の用途に供する部分を有しないもの
 - ②共同住宅等 共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅
 - ③非住宅建築物 住宅以外の用途のみに供する建築物
 - ④複合建築物 住宅の用途及び住宅以外の用途に供する建築物
2. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
3. 【申請の対象とする範囲】の欄は、一戸建ての住宅、非住宅建築物又は共同住宅等若しくは複合建築物の全体に係る申請の場合には「建築物全体」に、共同住宅等又は複合建築物の住戸の部分のみに係る申請の場合には「住戸の部分のみ」に、共同住宅等又は複合建築物の全体及び住戸の部分の両方に係る申請の場合には「建築物全体及び住戸の部分」に、「✓」マークを入れてください。

(第二面)

低炭素建築物新築等計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	八千代市大和田新田〇〇〇-〇
【2. 市街化区域等】	<input checked="" type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 区域区分が定められていない都市計画区域のうち用途地域が定められている土地の区域
【3. 敷地面積】	〇〇〇.〇 m ²
【4. 建築面積】	〇〇〇.〇 m ²
【5. 延べ面積】	〇〇〇.〇 m ²
【6. 建築物の階数】	(地上) 〇 階 (地下) 〇 階
【7. 建築物の用途】	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【8. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【9. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【10. 構造】	木 造 一部 造
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 建築物全体のエネルギーの使用の効率性】	基準一次エネルギー消費量 〇〇〇 GJ/年 設計一次エネルギー消費量 〇〇〇 GJ/年 (一戸建ての住宅、共同住宅等又は複合建築物(住宅の用途に供する部分)) 外皮平均熱貫流率 0.73 W/m ² ・K 冷房期の平均日射熱取得率 3.0 (非住宅建築物又は複合建築物(住宅以外の用途に供する部分)) 年間熱負荷係数 MJ/m ² ・年
【13. 確認の特例】	法第54条第2項の規定による申出の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
【14. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】	

【15. 備考】

(注意)

1. 【2. 市街化区域等】の欄は、新築等をしようとする建築物の敷地が存する区域が該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
2. 【7. 建築物の用途】及び【9. 工事種別】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
3. 【8. 建築物の住戸の数】の欄は、【7. 建築物の用途】で「共同住宅等」又は「複合建築物」を選んだ場合のみ記載してください。
4. 【12. 建築物全体のエネルギーの使用の効率性】の欄は、第一面の【申請の対象とする範囲】の欄で「建築物全体」又は「建築物全体及び住戸の部分」を選んだ場合のみ記載してください。この欄に用いる次に掲げる用語の意義は、それぞれ次に掲げる値として法第54条第1項第1号に規定する経済産業大臣、国土交通大臣及び環境大臣が定める基準において定めるものとします。なお、①及び②に掲げる値については、小数点第二位以下は切り上げた値を記載してください。
 - ① 基準一次エネルギー消費量 建築物の床面積、設備等の条件により定まる、基準となる一次エネルギー消費量（1年間に消費するエネルギーの量を熱量に換算したものをいう。以下同じ。）
 - ② 設計一次エネルギー消費量 建築物における実際の設計仕様の条件を基に算定した一次エネルギー消費量
 - ③ 外皮平均熱貫流率 建築物の内外の温度差1度当たりの総熱損失量（換気による熱損失を除く。）を外気等（外気等（住宅の外気又は外気に通じる床裏、小屋裏、天井裏等をいう。）に接する天井（小屋裏又は天井裏が外気に通じていない場合には、屋根）、壁、床及び開口部、共同住宅における隣接する住戸又は共用部に接する部分等をいう。以下同じ。）面積の合計で除した値
 - ④ 冷房期の平均日射熱取得率 冷房期において、建築物に入射する日射量に対する室内に侵入する日射量の割合を外気等面積で平均した値
 - ⑤ 年間熱負荷係数 1年間に外皮等を通して流出入する熱量を各階の屋内周囲空間の床面積の合計で除して得た値
5. 【13. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認の申請書を提出して同項に規定する建築基準関係規定に適合するかどうかの審査を受けるよう申し出る場合には「有」に、申し出ない場合には「無」に、「✓」マークを入れてください。
6. 【14. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】の欄には、法第60条の規定により容積率の算定の基礎となる延べ面積に算入しない部分の床面積（建築基準法第52条第3項及び第6項並びに建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第2条第1項第4号及び第3項の規定に基づき延べ面積に算入しない部分の床面積を除き、建築物の延べ面積の20分の1を超えるときは当該建築物の延べ面積の20分の1）を記入してください。また、当該床面積の算定根拠がわかる資料を別に添付してください。
7. この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第三面)

第三面は「一戸建ての住宅に」
ついては不要です。共同住宅等
で住戸がある場合に提出して
ください。

[申請に係る住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】	
【2. 住戸の存する階】	階
【3. 専用部分の床面積】	m ²
【4. 住戸のエネルギーの使用の効率性】	
基準一次エネルギー消費量	GJ/年
設計一次エネルギー消費量	GJ/年
外皮平均熱貫流率	W/m ² ・K
冷房期の平均日射熱取得率	

(注意)

1. この面は、共同住宅等又は複合建築物の住戸の部分に係る申請を行う場合に、申請に係る住戸ごとに作成してください。
2. 住戸の階数が二以上である場合には、【3. 専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。
3. 【4. 住戸のエネルギーの使用の効率性】の欄に用いる用語の意義は、第二面の注意4のとおりとします。
4. この面は、他の制度の申請書の写しに必要な事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面)

2. 低炭素化のための建築物の新築等に係る資金計画

〇〇〇〇万円

申請日が、工事着手予定年月日
より前となることを確認して
ください。

3. 低炭素化のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

〔工事の着手の予定年月日〕

〇〇年〇月 〇日

〔工事の完了の予定年月日〕

〇〇年〇月 〇日

(注意)

この面は、記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

記入例（低炭素【申請者】①-2）

別表

認定申請書及び添付図書の種類		提出部数
認定申請書	第1面	正本1部・副本1部
	第2面	
	第3面（一戸建て住宅の場合は不要）	
	第4面	
委任状	委任状（本人申請の場合は不要）	
説明書	設計内容説明書	
図書 (全ての建築物)	付近見取図	正本1部・副本1部
	配置図	
	仕様書	
	仕上げ表	
	各階平面図	
	床面積求積図	
	用途別床面積表	
	立面図	
	断面図（矩計図）	
	各部詳細図	
	各種計算書（軸組計算書・構造計算書）	
	適合証（登録住宅性能評価機関発行）	
	確認済証の写し（新築の場合）	
図書 (住宅以外の用途に供する建築物又は建築物の部分)	空調設備機器表	
	空調設備平面図	
	換気設備機器表	
	換気設備平面図	
	換気設備系統図	
	給湯設備機器表	
	給湯設備平面図	
	給湯設備系統図	
	照明設備機器表	
	照明設備平面図	
	昇降機設備機器表	
	昇降機設備平面図	
	各種自動制御図	
	その他機器表	
	各種計算書	

適合証が交付されている場合のみ

該当する設備が有る場合は提出してください。

図書（住宅のみの用途に供する建築物又は建築物の部分）	空調設備機器表	正本1部・副本1部
	換気設備機器表	
	給湯設備機器表	
	照明設備機器表	
	共同住宅等における昇降機設備機器表	
	その他機器表	

該当する設備が有る場合は提出してください。

別記第4号様式（第8）

取 り や め 届

令和〇〇年 〇月 〇日付け 建第〇〇〇〇号で認定された認定建築物の工事を取りやめたので、低炭素建築物新築等計画の申請に係る実施要領第8の規定により、次のとおり届け出ます。

令和〇〇年〇月 〇日

八千代市長 様

宛先は「八千代市長」
としてください

記載事項については、
認定申請書と同様の
記載としてください

届出者 氏名又は名称 〇〇〇〇

1	認定建築主の住所・氏名 (法人の場合は所在地・名称)	〇 〇 〇 〇
2	認定に係る建築物の位置	八千代市大和田新田〇〇〇-〇
3	認定に係る建築物の用途	一戸建ての住宅
4	取りやめの理由	建築計画が中止となったため
5	備考	
※ 受付欄		※ 決裁欄
年 月 日		※ 決裁年月日
第 号		年 月 日
係員氏名		係員氏名

注 1 認定通知書等を添付してください。

2 ※印のある欄は記入しないでください。

別記第3号様式（第7）

名義変更届

令和〇〇年 〇月 〇日付け 建第〇〇〇〇号で認定された建築物に係る認定建築主の名義を変更したので、低炭素建築物新築等計画の申請に係る実施要領第7の規定により届け出ます。

令和〇〇年 〇月 〇日

八千代市長 様

宛先は「八千代市長」
としてください

変更前の認定建築主と変更後の認定建築主の連名となります。

届出者 氏名又は名称 〇〇〇〇
氏名又は名称 ××××

1 認定建築主の住所・氏名 (法人の場合は所在地・名称)	新	住所 (所在地)	千葉県八千代市ゆりのき台〇丁目〇〇
		氏名 (名称)	〇 〇 〇 〇
	旧	住所 (所在地)	千葉県八千代市大和田〇〇〇-〇
		氏名 (名称)	× × × ×
2 認定に係る建築物の位置	八千代市大和田新田〇〇〇-〇		
3 備考			
※ 受付欄	※ 決裁欄		※ 通知欄
年 月 日			年 月 日
第 号			第 号
係員氏名			係員氏名

- 注 1 届出人は、変更前と変更後の認定建築主が連署して提出してください。
 2 ※印のある欄は記入しないでください。
 3 認定通知書等を添付してください。

別記第1号様式（第5）

軽微な変更届

宛先は「八千代市長」
としてください

令和〇〇年 〇月 〇日

(あて先)
八千代市長 様

認定計画実施者の住所又は
主たる事務所の所在地 〇〇〇〇
認定計画実施者の氏名又は名称
代表者の氏名 〇〇〇〇

都市の低炭素化の促進に関する法律第53条第1項の規定に基づき申請した
低炭素建築物新築等計画について軽微な変更があったため届出ます。

1. 低炭素建築物新築等計画の認定番号
建第〇〇〇〇号
2. 低炭素建築物新築等計画の認定年月日
令和〇〇年 〇月 〇日
3. 認定に係る住宅の位置
千葉県八千代市大和田新田〇〇〇-〇
4. 認定計画実施者の氏名
〇〇〇〇
5. 軽微な変更の概要
例：工事着工時期の変更

記載事項については、
認定申請書と同様の
記載としてください

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	決裁欄
令和 年 月 日	
第 号	
係員氏名	

(注意)

申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

記入例（低炭素【申請者】⑥）

別記第6号様式（第9第3項）

認定低炭素建築物新築等計画に基づく建築物の建築工事が完了した旨の報告書

令和〇〇年 〇月 〇日

八千代市長 様

宛先は「八千代市長」として
ください。

申請者の住所又は 八千代市大和田〇〇〇
主たる事務所の所在地
申請者の氏名又は名称 〇〇〇〇

認定低炭素建築物新築等計画に基づく建築物の建築工事が完了したので報告します。

1. 低炭素建築物新築等計画の認定番号

建第 〇〇〇〇号

2. 低炭素建築物新築等計画の認定年月日

令和 〇〇年 〇月 〇日

3. 認定に係る建築物の位置

八千代市大和田新田〇〇〇-〇

4. 認定建築主の氏名又は名称

〇〇〇〇

5. 計画に従って建築物の建築工事が行われたことを確認した建築士

(一級) 建築士 () 登録第 〇〇〇〇 号

住 所 〇〇〇〇

氏 名 〇〇〇〇

認定以降、都市の低炭素化の促進に関する法律施行規則第44条に規定する軽微な変更があった場合に記入してください

(級) 建築士事務所 () 知事登録第 号

名 称

所在地

6. 認定以降の軽微な変更の概要

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	決裁欄
令和 年 月 日	
第 号	
係員氏名	

(注意)

申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

記入例（低炭素【申請者】⑦）

別記第2号様式（第6）

取 下 げ 届

令和〇〇年 〇月 〇日付けで提出した(変更)認定申請書を取り下げたいので、低炭素建築物新築等計画の申請に係る実施要領第6の規定により、次のとおり届け出ます。

令和〇〇年 〇月 〇日

八千代市長 様

宛先は「八千代市長」
としてください

届出者の記載事項について
は、認定申請書と同様の記
載としてください

届出者 氏名又は名称 〇〇〇〇

1	申請者の住所・氏名 (法人の場合は所在地・名称)	〇 〇 〇 〇
2	認定に係る建築物の位置	八千代市大和田新田〇〇〇-〇
3	認定に係る建築物の用途	一戸建ての住宅
4	取下げの理由	例：建築計画が中止となったため
5	備考	
※ 受 付 欄		※ 決 裁 欄
年 月 日		年 月 日
第 号		係員氏名
係員氏名		

注 ※印のある欄は記入しないでください。